

溶接棒の選択基準

溶接用途の種類	溶接棒銘柄	銘柄の違い
光沢のあるきれいな溶接〔化粧棒〕、 JIS規格 D4313 高酸化チタン系 (薄板、軽量構造物の溶接) JIS規格 D4313 高酸化チタン系 (薄板、軽量構造物の溶接)	B-33 RB-26	普通一般的化粧棒。日本電極棒 N3 と同じ 立向下進溶接が可能な化粧棒
一般的溶接(軟鋼の薄中板溶接)[低ヒューム/断続・仮付溶接] JIS規格 D4303 ライムチタニヤ系 (一般構造物の溶接) JIS規格 D4303 ライムチタニヤ系 (一般構造物の溶接) JIS規格 D4303 ライムチタニヤ系 (仮付け溶接、断続溶接専用)	ゼロード44 TBI-24 TB43	作業性(使いやすさ)重視。日本電極棒 NIT50 と同じ 溶接性(強度)重視 再アーク性が優れる。 ゼロード44 を代用使用しても良い
一般溶接(厚板)アーク強度の必要な溶接[建築物、車両の溶接] JIS規格 D4301 イルミナイト系 (重要構造物の溶接) JIS規格 D4301 イルミナイト系 (重要構造物の溶接) JIS規格 D4301 イルミナイト系 (重要構造物の溶接)	B-10 B-14 B-17	作業性(使いやすさ)重視 作業性・溶接性の双方を考慮した棒 溶接性(強度)重視
重強度部材、厚板用の溶接棒[橋梁、造船、圧力容器の溶接] JIS規格 D4316 低水素系 (重強度部材、厚板の溶接) JIS規格 D5016 低水素系 (重強度部材、厚板の溶接) JIS規格 D5316 低水素系 (重強度部材、厚板の溶接)	LB-26 LB-52 LB-76	超低水素系780Mpsは極寒での高強度を有する/海洋構造物 普通一般的な軟鋼材の重強度部分の溶接棒 490Mpa級高張力鋼の溶接棒 (L55と同じ) 520Mpa級高張力鋼の溶接棒
硬化肉盛、対衝撃、対摩耗用の溶接棒[重機の溶接] JIS規格 D3251 パーライト系 (重機などの摩耗部の溶接) JIS規格 D3251 マルテンサイト系 (重機などの摩耗部の溶接) JIS規格 D3251 マルテンサイト系 (重機などの摩耗部の溶接)	HF-350 HF-500 HF-600	溶接後の機械加工可能な棒 機械加工不可 機械加工不可 * 数字が大きい程強度が増す

※ 溶接棒銘柄の後の記号 U(裏波溶接用)、T(仮付け用)、V(立向下進溶接用)となる。

たとえば、LB-52Uは 裏波溶接用、LB-26Vは 立向下進溶接用(流し棒)となる。

溶接用途種類	溶接棒銘柄	銘柄の違い
鑄物の溶接(ステライト棒、鑄鉄棒) ステンレスの溶接 (インコネル棒・・・ステン316系) 鉄・軟鋼用 ステンレス用	CIA-1 NC-38 NC-39 TGS50 TIG308	日本電極棒 N100 と同じ ステンレスとステンレスの溶接 N308 と同じ ステンレスと鉄の溶接 N309 と同じ
真鍮(しんちゆう)、鉄、銅のガス溶接棒(かんちゃく棒) 鉄、ニッケル、銅合金の溶接(銀ロウ棒) エアコン配管、冷蔵庫の配管(りん銅ろう)	トビノ棒(NDブロンズ) DIA-340 SIL-FOS5	銀ロウ棒 りん銅ろう

谷口酸素工業株式会社

※ 技術相談 神戸製鋼棒・・・TEL 0466(20)3000

日本電極棒・・・TEL 066(962)1821